

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

強い昭和な会社を取り戻す (その 1、スマホをやめたら 5000 円、新聞購読 2000 円で会社は存続)

1. 今の時代でも、パソコンやメールを活用せず経営する「昭和な会社」は可能だ。「私用でスマートホンを使わない社員には月 5000 円を支給する」。そんな制度を掲げる機械部品メーカーがある。岐阜県関市の岩田製作所だ。制度の導入を思い立ったのは、昨年のある日の風景だ。昼休み、本社工場の敷地内にある休憩用のベンチ。そこにずらっと座っている社員全員がスマホでゲームやメール、インターネットをしている。そこには全く会話がな。「異様な光景で背筋が寒くなる思いだった」と岩田修造社長は振り返る。
2. 岩田社長がスマホを問題視するのは、コミュニケーション力の低下もさることながら、社員の思考力も弱くなると考えたからだ。デジタル依存になり、すべての情報に受け身になれば、やがて自分では何も考えなくなる。スマホ漬けで弱りつつある社員の思考力、知識力を向上させるため、同社では、毎月 5000 円の奨励金で社員にスマホをやめさせるのと並行して、社員に対する新聞購読補助 (新聞記事の感想文を提出すれば月額 2000 円が給料に上乘せられる) を始めている。
3. 仮に社員全員 (90 人) が、この新聞補助まで申請すれば、脱スマホ奨励金と合わせて年間 700 万円以上のコストとなる。だが岩田社長は「スマホに会社を潰されるよりまし」と意に介さない。社内からスマホを一掃し、昭和の活力を取り戻す。そうすればこの先、10 年、20 年と会社は存続できる。岩田社長はそう信じている。

(参考:「日経ビジネス」2014 年 2 月 17 日号)

人事・労務について

古い価値観の怒が必要

童門 冬二 (歴史小説家)

1. 「今、何が必要なのか」。「いま必要な日本人の心とは何か」と問われれば「日本人の心の美しさは怒の精神に基づいている。その怒が必要だ」と答えたい。怒というのは「論語」にある孔子の教えで、「つねに相手の立場に立つてものを考える。こちら側の優しさと思いやり」のことだ。
2. 3 年前の東日本大震災は、多くの日本人に大きなショックを与えた。一言で言えば、「これでいいのか」という、現在の自分自身への反省。あのとき、それまでの人生観や価値観がいったん静止し、①それまでの価値観の廃棄②新しい価値観の創造③古い価値観の継続、などの、いわば「生き方のリニューアル」が行われた。しかし、「新しい価値観の創造」は手探り状態の中、古い価値観である「怒」がすべてに役立つのである。

(参考:「週刊東洋経済」:2014 年 3 月 8 日号)

経営者のための危機管理

危ない会社の様変わり

1. 「危ない会社 300 社リスト」を半期に 1 回発表している信用調査会社の東京経済によると、「危ない会社といえばゼネコン・不動産が定番でしたが、その常識が崩れてきた。増加が目立つのは運送業です」。5 年前には 2 社挙がらなかったが、最新版では 9 社と急増している。排ガス規制対応や車両の更新投資などの設備投資負担が重かったところに、円安による燃料費の高騰が追い打ちをかけた。
2. 印刷業の危ない会社も目立ち始めた。広告費の減少やペーパーレス化の進展でニーズが低下している。昨年の倒産で最も印象的だったのが、真生印刷 (大阪)。パナソニックに売り上げの大半を依存していたが、受注の減少で昨年 9 月民事再生法の適用に追い込まれた。食材の値上がりもあって、飲食店も見逃せない。最新版には病院の名前が三つ挙がったが、さらに増加が見込まれるのが、学校法人と地場の食品スーパーである。

(参考:「週刊ダイヤモンド」2014 年 3 月 8 日号)

古典に学ぶ

盗賊の驕り

(解説) かりにわたしが明知を得て、大いなる「道」にのっとる政治を行なうとする。そのときわたしが心がけるのは、何よりも邪道に踏みこまぬことだ。役所が立派なのは、政治が行きとどいている証拠だといわれる。だが真相はまさしく逆で、そんな国にかぎって田畑は荒れはて、人民の米びつはカラッポだ。にもかかわらず為政者は、美服をまとい、利剣をさげ、食膳には山海の珍味を並べ私財をせっせと蓄えている。盗賊の驕りとはこのことである。これほど「道」にそむいた行為があろうか。

(参考:奥平卓・大村益夫訳「老子・列子」:徳間書店)